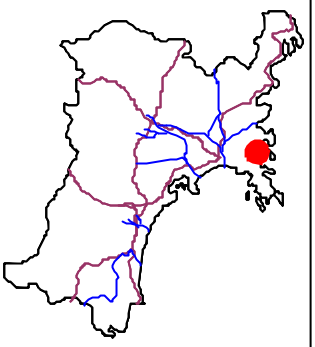
美しい東北の実現　循環型社会の構築

事業名　雄勝町特定環境保全公共下水道
補助 :事業主体　宮城県桃生郡雄勝町）　他 8箇所

事業着手 :平成 12年度	完成 ･供用の目標年度 :平成１７年度供用予定

事業の必要性 ･事業の概要

宮城県



事業の必要性」

下水道事業は、生活環境、公衆衛生の向上や公共用水域の水質保全を目的として事業を促進しているところですが、東北地方における下水道処理人口普及率は51.5%(H15年度末) と全国平均66.7%を大きく下回っています。

特に人口 5万人未満の市町村における普及率は34.1%と低く、未だ下水道を使用していない町村も多いため、早期供用に向け効率的 ･効果的な整備促進が必要となっています。

事業の概要」

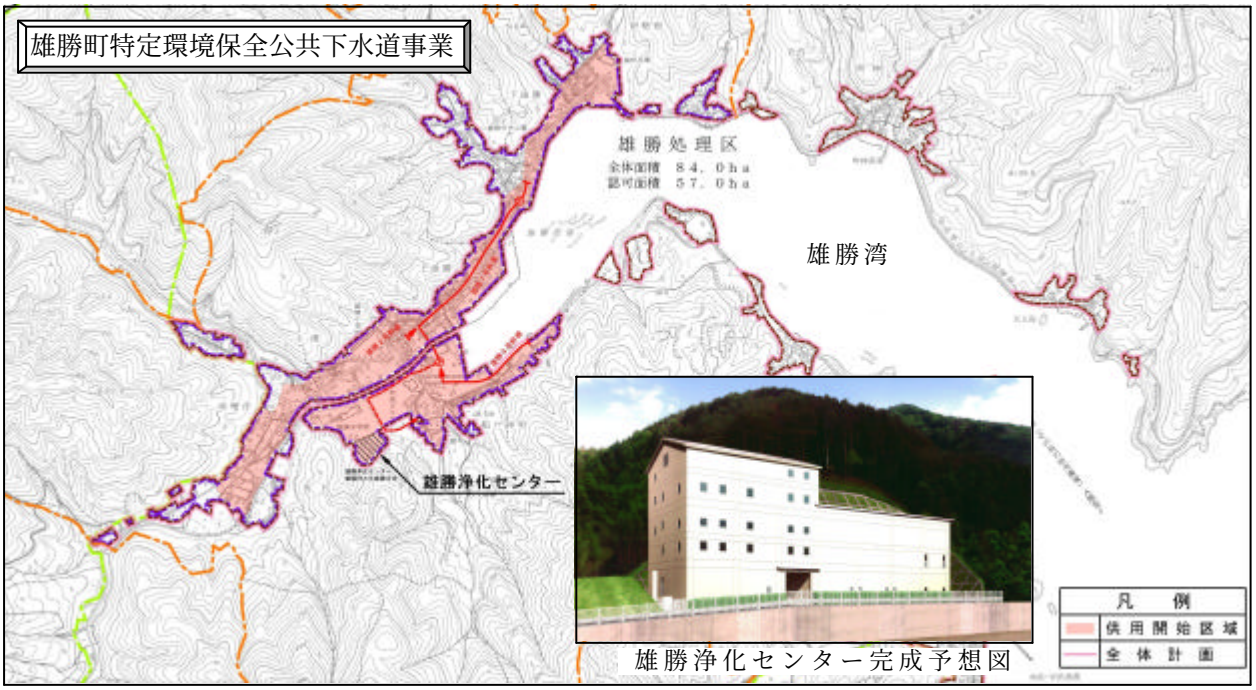
汚水処理の普及促進を進めるため管渠や処理場の整備促進を図り、新たに雄勝町 宮城県）を始めとした2市6町 1村で新規供用を開始します。

雄勝町においては、生活排水等の適正な処理を図るため、管渠、処理場等の下水道施設の整備を行い平成 18年 4月に供用開始します。

平成１７年度下水道新規供用予定箇所

県名	箇所
青森県	平内町公共下水道
	三厩村特定環境保全公共下水道事業
岩手県	大東町特定環境保全公共下水道事業
	軽米町特定環境保全公共下水道事業
	種市町特定環境保全公共下水道事業
宮城県	雄勝町特定環境保全公共下水道事業
秋田県	北秋田市特定環境保全公共下水道事業
福島県	浅川町特定環境保全公共下水道事業
	田村市特定環境保全公共下水道事業

※北秋田市は旧合川町分、田村市は旧常葉町分の新規供用



雄勝浄化センター完成予想図

平成１７年度事業費及び事業内容

○事業費：417百万円 雄勝町）
○処理場における水処理施設、管渠、マンホールポンプ等を整備し、新規供用開始を図ります。

事　業　効　果

○雄勝町特定環境保全公共下水道の供用開始により、新たに下水道を使用できる人口として約2，100人が見込まれています。